第26号

新風会だより

発行:平成31年2月28日 いそざき陽輔新風会

大分市長浜町 2-12-10 IL 097 (535) 8260 http://isozaki-office.jp/

参議院議員 礒崎陽輔 この6年の軌跡



皆さ続いて、
はいの
はい

私は、平成18年7 月、意を決して総務

省大臣官房参事官を最後に官を辞し、国政へ挑戦することとしました。しかし、当時第1次安倍政権は大変な状況にあり、翌年の厳しい参議院議員選挙戦の中で、辛勝しました。29あった1人区の選挙区では6勝23敗となるなど、自民党は、大敗を喫しました。1人区の初当選議員は、私一人しかいませんでした。その上、選挙戦で大いに尽力していただいた安倍総理が、選挙後わずか1か月で辞任することになりました。

福田政権での参議院におけるねじれ現象(少数与党) を経て、平成21年8月、麻生政権による総選挙で、自民 党は過半数割れをする大敗となり、政権を民主党に渡す こととなりました。私は、自民党の政権離脱に伴う年功 序列の崩壊の中で、国会対策副委員長や予算委員会理事 などに異例の抜擢を受け、野党の旗手となって予算委員 会を中心に国会での論戦を主導しました。また、憲法改 正推進本部において、自民党の憲法改正草案を起草しました。

平成24年の総裁選挙では、安倍氏を支持しました。選挙では、安倍氏が石破氏に逆転勝利するという結末になりました。そうした中、年末の総選挙で自民党が勝利し、3年3か月ぶりに政権を奪還しました。第2次安倍政権では、内閣総理大臣補佐官を拝命しました。

翌平成25年は、国家安全保障会議の創設など大きな使命を負った中で、2回目の参議院議員選挙に臨み、再選を果たしました。その後は、特定秘密保護法の制定、集団的自衛権の導入を含む安全保障法制の制定など国家安全保障担当の総理補佐官としての仕事に邁進しました。安全保障法制の完了をもって2年9か月務めた総理補佐官を辞し、参議院行政監視委員長を経て、翌平成28年8月に農林水産副大臣を拝命しました。

今任期の後半は、農林水産省にあって、主に農政改革の推進に当たり、2年間で農業競争力強化支援法など関連18法案を成立させました。水産分野においては、水産庁に「漁業取締本部」を設置し、外国違法漁船の取締り体制を強化しました。林野分野では、長年の懸案であった「森林環境税」を創設し、市町村による森林管理体制を築きました。また、自然災害が頻発する中で、各被災地の復旧対策に全力を尽くしました。農林水産副大臣も、2年2か月の長期に及びました。

現在は、久しぶりに党務に復帰し、参議院議院運営委員会筆頭理事として、与野党折衝の要の位置で国会運営の円滑化の仕事をさせていただいています。以下に、「この6年の軌跡」について、年表を掲載します。

国会議員就任前の主な経歴

昭和32年 大分市生まれ

愛隣幼稚園、金池小、佐伯小、上野ヶ丘中、大分舞鶴高校を経て、東京大学法学部卒

昭和57年 自治省に入省

北海道庁、自治省消防庁、財政局を経て、和歌山市財政部長、沖縄開発庁を経て、静岡県市町村課長、自治大学校研究部長・教授、堺市財政局長、内閣官房内閣参事官、総務省国際室長、総務省大臣官房参事官を最後に退職

現在の主な役職

議院運営委員会筆頭理事、憲法改正推進本部副本部長 消防議連事務局次長、石油流通問題議連事務局次長 行政書士制度推進議連事務局次長 警備業の更なる発展を応援する議連会長代理 しいたけ等特用林産物議連事務局長、醤油振興議連副幹事長 地域包括ケアシステム・介護推進議連副会長 ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議連幹事 大分県自転車競技連盟会長、大分県銃剣道連盟顧問

(このほか議員連盟には、多数所属しています。)

▶平成25年

- ○総理補佐官の任務をこなしながら第23回参議院議員通常 選挙大分県選挙区において当選、再選を果たす。(7月)
- ○国家安全保障会議に関する政府間協議に参加。イギリスでは前秘密情報庁長官スカーレット卿と、アメリカでは大統領府の国家安全保障会議でメデイロスアジア上級部長と会談。(8月)
- ◎NHK日曜討論に出演し、安全保障について討論。(9月)
- ◎自民党オイスカ議連の主催でモンゴルを訪問。アルタンホヤグ総理と農業支援について意見交換。
- ◎国家安全保障会議に出席し、特定秘密保護法案について 閣議提出を決定。(10月)
- ◎自民党公明党両党の「与党安全保障に関するPT」が設置 され、最初の会合に政府を代表して出席。(11月)
- ◎臨時国会で、政府提出の国家安全保障会議設置法案及び 特定秘密保護法案を成立させるとともに、議員立法で消 防団を中核とした地域防災充実強化法案を成立させた。 (12月)



第23回参議院議員選挙



モンゴルのアルタンホヤグ総理と



ワシントンの議事堂前で

▶平成26年

- ○内閣法の改正に伴い、初代の国家安全保障担当内閣総理 大臣補佐官に就任。(1月)
- ◎テレビ朝日のBS「激論!クロスファイア」に出演し、ジャーナリストの田原総一朗さんと外交防衛政策について討論。(2月)
- ○防衛大学校卒業式に安倍総理の随行として出席。(3月)
- ◎オランダで開催された核セキュリティサミットに安倍総理の随行として参加。アメリカのモニーツエネルギー長官と使用済核燃料の返還について協議。
- ○自民党富山県連等が主催した「憲法改正に向けた勉強会」 に出席し、憲法改正について講演。(4月)
- ◎憲法改正手続法(国民投票法)一部改正案及び地方教育 行政法一部改正案が成立。(6月)
- ○安全保障法制の整備について閣議決定。(7月)
- ○東京嘉風会主催の「嘉風関を励ます会」に出席。(8月)
- ○明治から昭和に掛けての郷土(国東市)の政治家元田肇 元衆議院議長を顕彰する記念フォーラムに出席。

- ○憲法改正推進本部で、選挙権年齢を18歳以上に引き下げる公職選挙法等一部改正案を決定。(11月)
- ○衆議院議員総選挙が施行、大分県内のみならず九州各地 の候補者の応援に入る。(12月)
- ○総選挙後の内閣改造で、引き続き内閣総理大臣補佐官に 就任。



内閣官房に国家安全保障局を設置



鹿児島県で宮路候補を応援



憲法改正について講演



アメリカのモニーツエネルギー長官と



テレビ朝日の番組に出演

▶平成27年

- ◎大分市で、公設地方卸売市場の水産部及び青果部の初せりに参加。(1月)
- ○中九州自動車道大野竹田道路大野朝地間開通式に出席。(2月)
- ○安全保障法制整備に関する与党協議会が再開。
- ○東九州自動車道の佐伯蒲江間が開通、ようやく県内で全通する。(3月)
- ○平和安全法制、特別委員会で審議入り。(5月)
- ○山国川中津市青地区治水対策事業竣工式に出席。
- ○公職選挙法改正案が成立し、選挙権年齢が18歳以上に。 憲法改正手続の環境が全て整う。(6月)
- ○選挙制度改革法案が参議院で可決。4県2合区を含む10 増10減案で決着。(7月)
- ○終戦の日。大分市の大分県護国神社で、みたままつり平 和祭に参列し、先の大戦による犠牲者の皆様に黙とうを 奉げる。(8月)
- ○大分市の更生保護施設あけぼの寮及び大分刑務所並びに 豊後大野市三重町の大分少年院を視察。
- ◎羽田空港及び江東区で、海洋国日本の災害医療の未来を

- 考える議員連盟の防災訓練の視察に参加。羽田空港では DMAT (災害派遣医療チーム)の展開訓練を視察し、江 東区の木材埠頭では護衛艦いずもに乗船し、同艦の医療 設備を視察。(9月)
- ◎内閣総理大臣補佐官として関与してきた平和安全法制が成立。
- ○内閣改造に伴い、2年9か月在任した内閣総理大臣補佐 官を辞任。(10月)
- ◎大分県看護連盟研修会ポリナビワークショップに出席 し、若手の看護職を対象に、「18歳選挙権の意義と期待」 について講演。
- ○大分県鍼灸マッサージ師会創立100周年記念大会祝賀会 に出席。(11月)
- ○憲法改正推進本部副本部長に就任。(12月)







護衛艦いずも船内で

▶平成28年

- ◎参議院行政監視委員長に就任。(1月)
- ○佐伯市宇目で、「すみつけまつり」に参加。(2月)
- ○大分川ダム本体建設工事定礎式で、齋槌の儀に参加。大型のロックフィルダムの本体工事が始まる。
- ◎自民党九州国会議員の会により九州電力玄海原子力発電 所を視察。(3月)
- ◎熊本地方で震度7の非常に大きな地震が発生。その後の 余震で大分県内も被害が拡大。大分県内で最大震度を記録した由布市に入り、市役所を訪れ、首藤市長から災害 状況について話を聞く。避難所の湯布院小学校を訪ね、 皆さんにお声掛けをした後、災害出動をしている陸上自 衛隊湯布院駐屯地を訪ね、自衛官を激励。(4月)
- ◎熊本地震によるJR九州豊肥線の復旧を始め、由布市や 別府市などの観光地対策や個人の生活再建に尽力。観光 クーポン「ふっこう割り」の実現に努力。
- ◎熊本地震の被災地熊本市で自民党総務会が開催され、終日、二階総務会長ら総務会メンバーに同行。関係自治体の長からの説明を聴取し、意見交換。(6月)
- ◎「輝く女性国際交流大会 in Oita」での記念講演のため 別府市を訪れたグエン駐日ベトナム大使と会談し、両国 の友好関係の一層の推進について合意。(7月)
- ○大分県自転車競技連盟会長に就任。
- ○内閣改造で、農林水産副大臣に就任。(8月)
- ◎熊本・大分両県で熊本地震の農林業復旧状況を農林水産 副大臣として視察。大分県内では石積損壊状況の調査と 林地崩壊及び治山堰堤の整備状況の調査を行う。(9月)
- ○台風10号による岩手県内の被害状況を視察。
- ○ペルーで開催されたAPEC食料安全保障大臣会合に出席。前年に新潟で開催されたC7農業大臣会合の成果を訴

- え、総会でピウラ宣言を採択。
- ○フィリピンのドゥテルテ大統領歓迎安倍総理主催晩餐会 に出席。(10月)
- ○OITAサイクルフェス2016開会式に出席し、大分県自転車競技連盟会長として挨拶、スターターを務める。
- ○日本中央競馬会主催のジャパンカップ表彰式で、優勝したキタサンブラックの馬主の北島三郎さんに農林水産大臣賞を授与。(11月)
- ◎参議院本会議でTPP条約案が可決され、同条約は批准される。(12月)
- ○大友氏顕彰会の皆さんと共に「大友宗麟」のテレビドラマ化をNHKに要請。
- ○宮崎県で鳥インフルエンザが発生し、同県に出張。河野 宮崎県知事と会談。



宇目のすみつけまつり



由布市の避難所を視察



農林水産副大臣に就任



フィリピンのドゥテルテ大統領歓迎晩餐会



OITAサイクルフェスで



北島三郎さんに農林水産大臣賞を授与

▶平成29年

- ◎GI(地理的表示保護制度)シンポジウムに出席。(1月)
- ○和歌山県に出張し、農林水産省主催の「車座ふるさとトーク」に出席。「事業の多角化等を通じた農業経営の発展」をテーマとし、ベテランの農家や新規参入の若い農家の皆さんの率直な意見を伺う。
- ◎ハンガリーのシーヤールトー外務貿易大臣と面談し、鳥インフルエンザに伴う輸入規制問題等について協議。(2月)
- ○自民党の環境・温暖化対策調査会に海ごみ対策検討チームが設置され、かつて故加藤紘一先生と共に議員立法に携わった海岸漂着物処理推進法の改正手続に着手。チームには、オブザーバーとして出席することになる。
- ○農業の未来をつくる女性活躍経営体(WAP100)表彰式 に出席。(3月)
- ○豊後大野市朝地町綿田地区の地割れ被害現場を視察。被 災者と意見交換。(5月)
- ◎FAO国連食糧農業機関総会に出席のためイタリアを訪問。日本国政府を代表して気候変動への対応と経済的弱者に対する食糧支援の在り方等について演説。オーストリアでは、林業事情を視察。(7月)
- ○福岡県及び大分県で、農林水産副大臣として北部九州大 雨災害の被災地を視察。
- ○内閣改造で、農林水産副大臣留任。(8月)
- ○つくば市で、GRA (農業分野の温室効果ガスに関するグローバル・リサーチ・アライアンス)理事会に出席。(9月)
- ◎皇太子同妃両殿下の御臨席の下に開催された「第20回全 国農業担い手サミット in こうち」に出席し、農林水産大 臣賞を授与。(10月)
- ○内閣改造で、農林水産副大臣に再任。(11月)
- ○税制改正で、長年の懸案であった森林環境税の創設が認められ、税の徴収は復興増税後の平成36年以降となるものの再来年から地方譲与税として導入するというウルトラCで決着。(12月)



ハンガリー外務貿易大臣と協議



綿田地区の地割れ災害を視察



FAO総会で



担い手サミットで農林水産大臣賞を授与

▶平成30年

○香川県で高病原性鳥インフルエンザ発生し、同県に出張。 浜田県知事と意見交換。(1月)

- ○水産庁に「漁業取締本部」を設置。外国違法漁業船対策 の強化を図る。
- ○大分市内の駅へのスマート・サポート・ステーション (SSS) 導入について、JR九州と交渉し、当初の計画を 延期させる。(2月)
- ○中津市耶馬渓町で、地滑りによる土砂崩壊現場を視察。 被災者と意見交換。(4月)
- ◎農業漁業の高度技術化を追求する第2回目のシンポジウムAG/SUM2018(アグリテックサミット)に参加。(6月)
- ◎参議院自民党で、公職選挙法の改正による合区解消まで の当面の定数是正等案を決定。
- ○農林水産省で、新規採用職員等の研修を行い、「公用文の書き方」について講演。(7月)
- ○長年の懸案であった東九州自動車道別府湾SAスマートインターチェンジ上り線が開通。(8月)
- ◎北海道胆振地方での大きな地震の発生に伴って緊急自然 災害対策本部に出席。(9月)
- ○内閣改造に伴い、農林水産副大臣を辞任。(10月)
- ○大分市で、OITAサイクルフェス2018が開催され、自転車競技大会の国際大会化が実現。
- ○議院運営委員会筆頭理事に就任。与党を代表して参議院 全体の議事の運営と院の管理を担う。
- ◎相次ぐヘリコプター事故を受け、消防議連に「消防防災 ヘリコプターの安全運航の確保に関する小委員会」を設置 し、委員長に就任。
- ◎外国違法漁船対策に取り組む漁業監督官OBが初めて危険業務従事者叙勲(瑞宝章)の対象に。(11月)
- ○中津市で、山国川床上浸水対策特別緊急事業竣工式に出席し、挨拶。



漁業取締本部を設置



耶馬溪の土砂崩壊現場を視察



農林水産省で新規採用職員研修



別府湾スマートインターチェンジ開通



農林水産副大臣を退任